



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和6年4月第2回市長定例記者会見

- ・日時 令和6年4月9日(火)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 4月13日(土)に「しぶかわ桜まつり」を開催します(資料1)
- 2 物価高騰下における市民生活への影響を軽減するため水道料金の一部を減免します(資料2)
- 3 保護者の就労要件を問わない「こども誰でも通園事業」を開始します(資料3)
- 4 ほめて育てる子育て「ほめ育」のコツを広報しぶかわで紹介します(資料4)
- 5 渋Pay1%応援金を活用して魅力ある学校づくりを支援します(資料5)
- 6 北毛地区における小児・周産期医療の確保に関する要望書を群馬県知事に提出しました(資料6)

その他資料提供

- ・春の全国交通安全運動に伴う一斉街頭指導を行います(資料7)

○次回開催予定

日時：令和6年4月15日(月) 午後1時～
場所：市役所本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
4月8日(月)	7:20 10:00	春の全国交通安全運動に伴う車両広報 小学校入学式	北橋地区 渋川北小学校	危機管理室 学校教育課
	13:00	中学校入学式	金島中学校	学校教育課
4月9日(火)	7:15 10:00	春の全国交通安全運動に伴う車両広報 北橋幼稚園入園式	赤城地区 北橋幼稚園	危機管理室 学校教育課
	13:00 14:30	市長定例記者会見 行政相談委員委嘱状伝達式	市役所本庁舎 市役所本庁舎	広報室 総務課
4月10日(水)	7:15	春の全国交通安全運動に伴う車両広報	小野上地区	危機管理室
4月11日(木)	7:30 9:30	春の全国交通安全運動に伴う車両広報 長寿者顕彰	伊香保地区 市内	危機管理室 高齢者安心課
4月12日(金)	7:15	春の全国交通安全運動に伴う車両広報	子持地区	危機管理室
4月13日(土)	11:00	しぶかわ桜まつり	総合公園自由広場	都市政策課
4月14日(日)	11:00	渋川地区広域圏小野上処分場連絡協議会定期総会	市環境学習多目的施設	小野上行政センター
4月15日(月)	7:15 9:00	春の全国交通安全運動に伴う車両広報 庁議	渋川地区(南) 市役所本庁舎	危機管理室 政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	15:30	春の全国交通安全運動に係る一斉街頭指導	市民会館広場ほか	危機管理室

資料1

4月13日(土)に「しぶかわ桜まつり」を開催します

約3,000本の桜を有する渋川市総合公園で、桜が見頃を迎える4月13日(土)に「しぶかわ桜まつり」を開催します。ステージイベントやスタンプラリーなどを実施するほか、MM-1フェスティバル(まんなか・まんじゅうフェスティバル)も同時開催します。

1 概要

約3,000本の桜を有する渋川市総合公園で、市民に桜を愛で春の訪れを感じてもらうことを目的とした企画です。

平成28年を初回とし、今回で7回目の開催となります。平成29年からは、渋川商工会議所青年部が中心となった実行委員会を組織し、運営しています。

今回最大の企画として、気球の試乗イベントを行います。気球に乗って、空から花見が楽しめます。また、市内各店舗のまんじゅうを味比べできる、MM-1フェスティバル(まんなか・まんじゅうフェスティバル)も同時開催します。

2 日 時 令和6年4月13日(土) 午前9時～午後3時

3 場 所 渋川市総合公園(渋川(明保野)4272)の自由広場ほか

4 内 容

(1) しぶかわ桜まつり(主催:しぶかわ桜まつり実行委員会)

- ・気球試乗イベント(会場は運動広場です)

1回1,000円

※試乗には整理券が必要です。整理券は午前8時30分から配布します

※荒天の場合は中止となります

- ・ステージアクト

アマチュアロックバンドによる演奏が行われます。

- ・スタンプラリー

スタンプを集めながら桜の名所を散策していただきます。

- ・出店コーナー

やきそば、パンケーキなどの出店が並びます。このほか、こどもブースなどを企画しています。

- ・働く車大集合

トラックなどの車が展示され、試乗や記念撮影ができます。

※状況により内容に変更、中止の場合があります。

- ・MM-1 フェスティバル

「日本のまんなか」渋川市の「まんじゅう」をPRするとともに、地域の活性化を図ることを目的に、渋川地区の「まんじゅう」を一堂に集め販売します。

- ・渋川バザール

渋川商工会議所青年部の産業祭を開催します。

※雨天決行・荒天中止です。雨天の際は、ステージなど一部内容を変更して体育館で実施します

(2) 夜桜ライトアップ (主催：渋川市)

公園内のレンガ通り及び自由広場において桜にスポットライトをあてるなど夜桜を楽しんでいただけます。

- ・期 間 令和6年4月8日(月)～5月6日(月)
※桜の開花状況により変更となります
- ・時 間 毎日午後6時～9時

5 主 催 しぶかわ桜まつり実行委員会

6 共 催 渋川商工会議所青年部

7 後 援 渋川市、渋川商工会議所、公益財団法人渋川市まちづくり財団、
一般社団法人渋川伊香保温泉観光協会、渋川地区物産振興協会

8 記者会見出席者 しぶかわ桜まつり実行委員会 会長 須田 裕和 氏

参考

しぶかわ桜まつり過去5カ年の開催状況

- ・平成31年度：4月13日(土) 来場者数約3,500人
- ・令和2年度：コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・令和3年度：コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・令和4年度：4月16日(土) 来場者数約2,500人
- ・令和5年度：4月15日(土) 来場者数約1,500人

■問い合わせ先

建設交通部 部長 柴崎 憲一 (内線4700)

担当：都市政策課 (電話0279-25-8307)

課長 松田 忠義 (内線4790)

管理係長 佐藤 一憲 (内線4785)

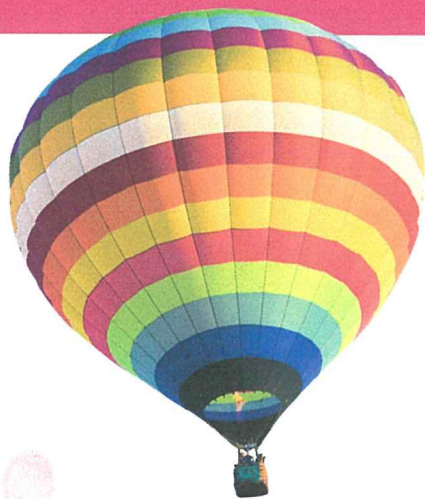
回覧

さくらの木の下で会いましょう。

しぶかわ桜まつり

Cherry Blossom Festival

2024. 4. 13 Sat 9:00~15:00



BALLOON

熱気球搭乗体験

(気球搭乗イベント9:00~13:00 1回/1,000円)

※ 気球搭乗会場は、別会場「運動広場」となります。なお、天候状況により中止となる場合がございます。

8:30~整理券を配布します(搭乗には整理券が必要です)

- 気球イベントに関する詳細はホームページに掲載があります。まずは右下のQRコードよりご確認ください。
- 気球イベントに関する詳細は右下のQRコードよりご確認ください。

【同時開催】

渋川バザール

(渋川商工会議所 青年部 産業祭)

【同日・同会場で開催のイベント】

MM-1フェスティバル

(まんなかまんじゅうフェスティバル)



色んな車が大集合! 試乗・記念撮影もできる!

会場 / 渋川市総合公園 自由広場 (渋川市渋川4272)

※ 雨天の場合、ステージイベント等は体育館でおこないます。但し荒天の場合は、イベント中止となります。

主催 しぶかわ桜まつり実行委員会 共催 渋川商工会議所 青年部

後援 渋川市 / 渋川商工会議所 / (公財)渋川市まちづくり財団 / (一社)渋川伊香保温泉観光協会 / 渋川地区物産振興協会

協力 Voxx Gardens Circus実行委員会

お問合せ / 渋川商工会議所 青年部 会長(須田裕和) 080-9509-7521

イベントの詳細は、HPでご確認ください。



Cherry Blossom Festival

資料2

物価高騰下における市民生活への影響を軽減するため 水道料金の一部を減免します

渋川市水道事業は、水道料金で運営をしていますが、令和元年度から赤字決算が続いており、極めて厳しい経営状況となっています。将来に向けて健全な事業経営を維持し、安心して安全な水道水の安定供給を続けていくため、令和6年4月から水道料金の改定を行いました。

料金改定に当たって、物価高騰下にある現在の情勢を考慮し、市民生活への影響を軽減するため、9割を超える一般家庭等を対象に水道基本料金の減免を実施します。

1 目的

令和6年4月からの水道料金改定に当たり、物価高騰下の影響を受けている一般家庭への水道料金値上げによる更なる負担を軽減するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、13mm口径及び20mm口径の使用者に対して、水道基本料金の半額免除を実施するものです。

2 対象者 量水器口径13mm及び20mmの使用者（約3万2,600件・官公庁等除く）

3 実施期間 令和6年6月～11月（6カ月間）

4 減免後の基本料金（2カ月分・税込み）

（1）13mm口径：2,530円（減免前）→1,265円（減免後）

（2）20mm口径：2,640円（減免前）→1,320円（減免後）

5 減免額 1億2,500万円（予定）※6月～11月検針分請求額から免除

6 手続等 減免に係る事前の申請手続は必要ありません

7 周知の方法

広報しぶかわ5月1日号及び市ホームページへの掲載、水道検針時（4月及び5月）のチラシ配布（業務委託受託者による配布）により周知します。

8 その他

水道料金のうち従量料金及び下水道使用料は、免除の対象外となります。

■問い合わせ先

上下水道局 局長 木村 裕邦（内線4800）

担当：総務経営課（電話0279-22-2504）

課長 堀口 幸則（内線4810）

経営会計係長 石北めぐみ（内線4865）

資料3

保護者の就労要件を問わない「こども誰でも通園事業」を開始します

渋川市は、市内の全ての子育て家庭に対して、保育所とは違って就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる新たな通園制度を、令和6年7月1日(月)から渋川幼稚園で試行的に実施します。

1 経 緯

国は、全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な生育環境を整備することを目的として、「こども誰でも通園制度」の本格実施を見据えた試行的事業を実施するため、令和5年度補正予算(第1号)の成立を経て、令和5年12月7日に全国の自治体へ試行的事業の公募要領を示しました。

渋川市は、この事業に応募し、令和5年12月28日付けで事業採択(全国106自治体)されたものです。

2 概 要

渋川市は、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、現行の幼児教育・保育給付(幼稚園、保育所、認定こども園など)に加え、月一定時間までの利用可能枠の中で、保護者の就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる新たな通園給付(「こども誰でも通園制度」)の創設を見据え、事業を実施します。

3 内 容

(1) 対象児童

次の全てに該当する児童

- ① 渋川市に住民登録していること
- ② 幼稚園、保育所、認定こども園などに在籍していないこと
- ③ 0歳6カ月～満3歳未満であること

(2) 利用可能時間

- ① 午前9時～正午
- ② 1時間単位で利用可能
- ③ 児童一人当たり月10時間まで

(3) 利用可能日 月・水・金曜日(祝日・年末年始・県民の日などを除く。)

(4) 実施施設 市立渋川幼稚園

(5) 定 員 1日当たり6人(満1歳未満は3人まで)

(6) 職員配置 専任の保育士3人

(7) 利用料 無料

4 利用までの流れ

①渋川幼稚園へ利用相談（令和6年5月1日(水)から）

↓

②利用申込書の提出

↓

③市から利用承諾通知書の送付

↓

④渋川幼稚園へ利用日の予約（来園または電話）

↓

⑤利用開始（令和6年7月1日(月)から）

5 予算額 747万8千円（財源内訳：国4分の3、市4分の1）

6 今後の展開

- ・令和6年度：試行的事業（国庫補助事業）として実施した上で、アンケート調査及び検証を行う
- ・令和7年度：法律に定められている地域子ども・子育て支援事業として制度化された事業として実施（国は、実施自治体の拡充する予定）
- ・令和8年度：子ども・子育て支援法に基づく法定給付として実施

7 その他

県内でこども誰でも通園制度を実施するのは、前橋市、高崎市と渋川市の3市となっています。

■問い合わせ先

育都推進部 部長 角田 義孝（内線1150）

担当：こども支援課（電話0279-22-2415）

課長 野中 文子（内線1201）

保育幼稚園係長 田子 純一（内線1244）

ほめて育てる子育て「ほめ育」のコツを 広報しぶかわで紹介します

渋川市は、「育都」の取り組みとして、保護者が子どものいる幸せを実感し、良好な親子関係を築くことができるよう、「ほめて育てる子育て（略称：ほめ育）」を推進します。推進に当たり、広報しぶかわにおいて子どもへの声かけ事例を紹介し、「ほめ育」のコツを広めていきます。

1 目 的

子育てが思うようにいかないなどの不安やストレスから子どもに強い口調で当たることは、子どもにも保護者にもよいことではありません。保護者が子どものあるがままを受け入れ、子どもをほめたり、子どもの気持ちに共感したりする声かけによって、子どもの自己肯定感が高まり自主性と自信を育む効果が期待できます。そして、良好な親子関係を築くことにつながります。

渋川市は、令和6年度の「育都」の取り組みとして、「ほめて育てるコミュニケーション・トレーニング（通称：ほめトレ）」講座を開催するとともに、毎月、広報しぶかわで、事例を挙げながら「ほめ育」のコツを紹介します。

2 ほめて育てるコミュニケーション・トレーニングの概要

ほめて育てることがよいことは、一般的に知られています。しかし、日常生活の中で、「何をほめてよいのか分からない」「どのようにほめたらよいのか分からない」ということが多々あります。

このトレーニングは、「ほめる・認める・共感する」ことの意義、子どもへの声かけのポイントについて学ぶものです。

3 広報への掲載内容

令和6年5月号から毎月、日常生活の場面ごとに子どもへの声かけの事例とそのポイントを紹介します。

《掲載例》

- ・食器の後片付けをしようとして、落として割ってしまったときの声かけ
- ・かけっこを練習したが、本番で3着だったときの声かけ
- ・目覚まし時計をセットしたが、起きることができなかったときの声かけ など

■問い合わせ先

育都推進部 部長 角田義孝（内線1150）

担当：こども政策課（電話0279-22-1880）

課長 松下 恵子（内線1219）

政策推進係長 柴崎智広（内線1243）

渋P a y 1%応援金を活用して魅力ある学校づくりを支援します

渋川市は、令和4年12月からスタートした地域通貨「渋P a y」の決済額の1%を地域貢献協力金（＝応援金）として、こども夢基金に積み立てを行い、「将来世代への投資」を目的とする事業に活用することとしています。

令和6年度は、学校図書の実用に加え、児童生徒の意見を参考とした備品等の購入に活用し、魅力ある学校づくりを支援します。

1 概 要

渋P a y 1%応援金を活用して、児童生徒の意見を参考にしながら、各小中学校ごとに取り組んでいる魅力ある学校づくりに必要な備品等を購入します。

2 渋P a y 1%応援金とは

渋川市の今後を担う「将来世代への投資」として、渋P a y 決済額の1%を加盟店に負担してもらい、子どもたちの健やかな成長に資する事業に活用します。

渋P a y 事業は、多くの市民等に利用されることにより、市民・事業者・市が共に支え合う地域社会の実現を目指しています。

※令和5年度に実施した、応援金を学校図書に活用する「渋P a y 文庫」は、令和6年度も引き続き実施します

【令和5年度実績：1,995,933円】

3 各学校配分金額

(1) 小学校（計14校：1校当たり30万円）＝420万円

(2) 中学校（計9校：1校当たり30万円）＝270万円

※合計23校＝690万円

4 予 算 額 690万円（渋P a y 1%応援金活用魅力ある学校づくり事業）

参考

1 渋P a y の実績（令和5年3月16日～令和6年3月15日）

(1) 利用総額＝12億2,872万3,093円

(2) 地域貢献協力金（応援金）額＝1,228万4,986円

※決済額が1円単位のため、利用額の1%となっていません

(3) 協力金の活用状況

・渋P a y 1%応援金活用学校図書充実事業

2 「渋谷Payポイント還元キャンペーン」の実施状況

- | | |
|--------------|---|
| (1) キャンペーン概要 | 期間中「渋谷Pay」でお買い物などをすると、利用額の最大20%分のポイントをその場で還元します |
| (2) ポイント付与期間 | 令和6年4月1日～8月31日(土) |
| (3) ポイント還元上限 | 期間中1人1万ポイントまで還元します
※ポイント還元分の予算額は1億円です |
| (4) ポイント発行済額 | 19,446,180円（執行率19.45%）
※令和6年4月8日午前9時現在 |

■問い合わせ先

教育部 部長 斉藤 章吉（内線4930）

担当：学校教育課（電話0279-22-2121）

課長 飯塚 寿夫（内線4910）

学務係長 木暮 崇之（内線4915）

北毛地区における小児・周産期医療の確保に関する要望書を群馬県知事に提出しました

渋川市長は、県立小児医療センターの移転整備の発表に伴い、4月3日(水)に渋川市長ほか関係13市町村長の連名で群馬県知事に要望書を提出しました。

県立小児医療センター移転後の北毛地区の小児・周産期医療の確保に向けた協議の場の設置を強く要望しました。

1 概要

群馬県は、令和6年2月8日(木)の定例会見で、県立小児医療センターの移転再整備を発表しました。県立小児医療センターは、北毛地区の小児救急医療を支え、周産期医療を含む地域医療の中核を担っています。移転に伴う対策を講じないと、北毛地区の小児医療に支障をきたすだけでなく、渋川・吾妻地区に周産期医療を実施する医療機関がなくなってしまうことになります。

これを受けて、渋川市長は、4月3日(水)に群馬県知事が移転後の対応方針等を説明するため渋川市役所を訪問した際に、県立小児医療センター移転後の北毛地区の小児・周産期医療の確保に向けた協議の場の設置を強く求める、渋川市長ほか関係13市町村長連名の要望書を、群馬県知事に手交しました。

2 要望書

別紙のとおり

3 要望書の手交日及び場所

- (1) 手交日 令和6年4月3日(水)
- (2) 場所 渋川市役所2階市長応接室

4 関係市町村

榛東村、吉岡町、中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町、沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町

■問い合わせ先

【要望書に関すること】

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：政策戦略課 (電話0279-25-8554)

課長 小野 篤史 (内線2420)

政策推進係長 坂本 和馬 (内線2422)

【小児・周産期医療に関すること】

育都推進部 部長 角田 義孝 (内線1150)

担当：健康増進課 (電話0279-25-1321)

課長 一場 悦子 (内線4600)

管理係長 本郷 睦代 (内線4621)

群馬県知事 山本 一太 殿

北毛地区における小児・周産期医療の 確保に関する要望書

渋川市にある県立小児医療センターの前橋地区（群馬大学医学部附属病院隣接）への移転再整備が決定されました。

現在、県立小児医療センターは、小児における北毛地区の一次・二次及び全県の三次医療を担っている重要な医療機関であり、北毛地区の小児救急医療を支え、周産期医療を含む地域医療を担い、安心できる医療体制を提供していただいております。

この県立小児医療センターの移転に伴う対策を講じないと、北毛地区の小児一次・二次医療が崩壊する恐れが生じるだけでなく、渋川・吾妻地区に周産期医療を実施する医療機関が全く無い状況が生じてしまいます。

また、北毛地区は県全体の1/2の面積を占めていますが、その医療体制は十分確保できているとはいえない状況にあります。

以上のことから、県立小児医療センター移転後の北毛地区の小児・周産期医療の確保に向けて、「行政・住民・医師会」の三位一体となった協議の場の設置を強く要望いたします。

令和6年3月吉日

澁川市長 高木 勉

榛東村長 南 千晴

吉岡町長 柴崎 徳一郎

中之条町長 外丸 茂樹

長野原町長 萩原 睦男

嬭恋村長 熊川 栄

草津町長 黒岩 信忠

高山村長 後藤 幸三

東吾妻町長 中澤 恒喜

沼田市長 星野 稔

片品村長 梅澤 志洋

川場村長 外山 京太郎

昭和村長 堤 盛吉

みなかみ町長 阿部 賢一

春の全国交通安全運動に伴う一斉街頭指導を行います

春の全国交通安全運動に伴い、通行車両等に対して交通安全啓発品を配布し、交通安全を意識づけて交通事故防止の徹底を図ります。

1 目 的

交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、交通事故防止の徹底を図るため、春の全国交通安全運動に伴う一斉街頭指導を行います。

2 日 時 令和6年4月15日(月) 午後3時30分～4時(予定)

3 場 所 渋川市民会館前 市道駅前通り線

4 内 容 運転者へチラシと啓発品の配布、沿道でのぼり旗の掲出

5 参 加 者 渋川市交通対策協議会委員

顧 問 県議会議員、渋川警察署長、渋川交通安全協会長

会 長 渋川市長

副会長 市議会議員、副市長、教育長 ほか

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人(内線2105)

担当：危機管理室(電話0279-22-2130)

室長 佐藤 昭代(内線2180)

安全安心係長 樺澤 華一(内線1144)